

## 2019年度事業報告

2019年度の健（検）診事業は、集団健（検）診事業の受診率が伸び悩むなど全国的な傾向から、厳しい状況が続いた。

特定健診・特定保健指導は、「特定健康診査等実施計画」の第三期（平成30年度から令和4年度まで）の二年目となり、国・県の施策により市町村では健診受診率向上に向けた新たな取り組みが行われたが、受診者数は前年度と比較して大きく減少した。

がん検診は、「がん対策推進基本計画」の第三期（平成29年度から令和4年度まで）の三年目となり、「がん予防」、「がん医療の充実」及び「がんとの共生」を3つの柱としてそれぞれ目標が掲げられた中で、がん予防においては、がんリスクの減少（1次予防）、国民が利用しやすい検診体制の構築、がんの早期発見・早期治療（2次予防）の促進を図ることとされているが、事業団が実施した健（検）診別の受診者数は、肺がん検診は増加したものの、肺がん検診（X線検査）、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診などについては減少した。特に胃がん検診の減少に歯止めがかからず、大幅な減少となった。

施設健診事業は、長野・伊那健康センターともに、受診者が増加した。

データ処理では、市町村と地域の医療機関が連携して実施する胃内視鏡検診における結果の処理事業を新たに1市より受託し、4市町村からの受託とした。

そうした中、受診者目線に立った満足度の高い健（検）診の提供を目指し、集団健（検）診では、マンモグラフィ検診車の装置載せ替え、胸部フィルム検診車の撮影装置デジタル化を行い、施設健診では、前腕用X線骨密度測定装置など機器の更新を行った。

また、システム関係では、前年度にバージョンアップを行った巡回健診システムとともに、長野・伊那健康センターの施設健診システムの確実な運用を進めた。

職員の教育・育成については資質の向上を目指し、意識改革及び知識の向上に必要な外部研修への参加及び内部研修を積極的に実施した。

経理業務においては、公益財団法人としての信用度を高めることを目的として、引き続き外部機関（公認会計士）の検査を定期的に取り入れ、正確性を確保した。

### I 普及啓発事業

#### 1 イベント・行事

##### （1）健（検）診担当者研修会の開催

市町村及び事業所の健（検）診担当者を対象に研修会を開催し、次のとおり講演と2020年度に向けた事業団の健（検）診・保健事業等の取り組みについて説明した。

開催日 2019年10月18日（金）

場 所 ロイヤルホテル長野グランドホール（参加者117名）

講演 演題 「もう案内作りは怖くない  
ソーシャルマーケティング式案内作り」  
講師 株式会社キャンサーズキャン  
ソーシャルマーケティング事業本部 康 泰全 先生

(2) 第38回信州婦人健康のつどいの開催

結核等感染症の予防知識を習得するとともに、各婦人団体相互の連携による健康づくりに向けた活動を推進するため、長野県などとの共催により次のとおり実施した。

開催日 2019年9月4日(水)  
場所 松本平広域公園内(信州スカイパーク) 体育館  
共催 長野県、結核予防婦人会長長野県連合会、長野県連合婦人会  
講演 演題 「心筋梗塞と生活習慣」  
講師 公益財団法人長野県健康づくり事業団  
伊那健康センター 所長 筈井 寛 先生

このほか、参加者全員による体操、競技、踊り等を行った。

(3) 街頭キャンペーン活動の実施

がん征圧月間(9月)と結核予防週間(9月24日～30日)に合わせて、がん予防の広報活動と結核予防婦人会との共催で複十字シール募金の街頭キャンペーン活動を実施し、がんや結核に関する資料配布等で予防意識の高揚を図った。

2019年9月4日(水) 信州婦人健康のつどい

2019年9月24日(火) 街頭キャンペーン 長野市JR長野駅前

(4) がん征圧全国大会への参加

公益財団法人日本対がん協会(以下「日本対がん協会」という。)主催のがん征圧全国大会に関係職員が参加し、事業推進に関する全国的動向の把握と最新情報等の収集に努めた。

開催日 2019年9月12日(木)～13日(金)

場所 愛媛県松山市「松山市民会館大ホール」

大会テーマ 「がん征圧 愛媛ではぐくむ 心と体」

(5) リレー・フォー・ライフジャパン信州長野への協力

長野市で9月14日(土)～15日(日)に開催した「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 信州長野」に、日本対がん協会長野県支部として支援した。

(6) 信州がんプロジェクトへの協力

abn長野朝日放送と協賛各社が取り組む「信州がんプロジェクト」に協力した。

## 2 広報紙・ポスター等の配布

(1) 日本対がん協会が作成したがん征圧月間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを

市町村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

がん征圧月間ポスター	1,850枚
禁煙ポスター	1,850枚
対がん協会報	4,320部
がん検診のすすめ	2,000枚
乳がんのセルフチェック	2,000枚

(2) 結核予防会が作成した結核予防週間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを市町村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

結核予防週間ポスター	2,600枚
結核の常識	5,500部
複十字	2,160冊

(3) 全国結核予防婦人会が作成した冊子を健(検)診実施主体や関係機関等に配布した。

健康の輪	2,124冊
------	--------

### 3 マス・メディアの活用・協力

(1) 啓発広告の掲載

新聞各紙に啓発広告を掲載し、がん予防や結核予防に関して意識の高揚を図った。

がん征圧月間に関する掲載

8月20日(火) 毎日新聞	8月29日(木) 日本経済新聞
8月31日(土) 読売新聞(長野県版)	8月27日(火) 朝日新聞
8月31日(土) 中日新聞	9月1日(日) 信濃毎日新聞
9月1日(日) 読売新聞(中南信版)	

結核予防週間に関する掲載

9月1日(日) 毎日新聞	9月7日(土) 毎日新聞
9月11日(水) 毎日新聞	9月14日(土) 毎日新聞
9月14日(土) 朝日新聞	
9月23日(月) 信濃毎日新聞(全面企画広告)	

(2) 有線放送

長野市南部を放送エリアとする更北有線放送の「みんなで進める健康づくり」の企画に「健診から始める健康づくり」をテーマとして、年間12回の放送に協力した。

### 4 関連組織との連携

(1) 結核予防婦人会長野県連合会

結核予防推進のため、事務局として会の育成に努めるとともに活動を支援した。

また、「第38回信州婦人健康のつどい」の共催、複十字シール運動への協力など、結核の知識普及啓発及び最新情報等の収集を行った。

## 5 表彰

### 結核予防・生活習慣病予防功労者表彰

永年に亘り結核予防・生活習慣病予防に貢献された功労者に対し、「第38回信州婦人健康のつどい」において理事長表彰を行った。

受賞者 和田 秀一 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 胃集団検診フィルム読影において、平成2年4月から令和元年6月までの29年もの永きに渡り「長野市医師会胃集団検診読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献した。また、平成25年6月からは委員長として、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会を開催する等、読影技術の向上に努め胃がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 北澤 邦彦 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 胃集団検診フィルム読影において、平成2年4月から令和元年6月までの29年もの永きに渡り「長野市医師会胃集団検診読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献した。また、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会に出席する等、読影技術の向上に果たした功績は顕著である。さらに、長野市が平成6年より開始した肺がん検診のフィルム読影において、平成6年4月から現在までの25年もの永きに渡り「長野市医師会肺がん検診読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期肺がんの発見に貢献された。平成16年4月から平成22年3月まで委員長を務められ、本委員会において読影し発見された肺がん症例を発表する症例供覧会を開催する等、読影技術の向上に努め肺がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 山下 公仁彦 氏（諏訪市）

推薦者 一般社団法人諏訪市医師会

受賞理由 地域の急性期医療を担う諏訪赤十字病院の放射線科医師として精

勤しながら、平成9年4月に諏訪市医師会肺癌検診検討委員会委員に就任。胸部画像の読影を開始した。平成13年4月からは委員会の副委員長に就任、更に平成18年4月からは委員会の委員長に就任し、その重責を果たすべく永年に渡り真摯に取り組んでおり、早期発見・早期治療の観点から、市民の健康管理に寄与している。

受賞者 伊東 由夫 氏（大町市）

推薦者 大町市長 牛越 徹

受賞理由 昭和64年伊東医院を開業以来、行政が実施する保健予防事業に積極的にご尽力いただいている。特に特定健診・がん検診をはじめとする市の保健予防事業の効果的な推進のため、多大なるご協力をいただいた。また、市で行っている胃検診では、長年にわたり読影医として胃がん等の早期発見に貢献されている。現在も市の健診等の委託を受け、市民の健康を守るため、健診業務をはじめ保健予防事業に積極的に取り組んでいただいている。

受賞者 近藤 一雄 氏（松川村）

推薦者 松川村長 平林 明人

受賞理由 平成元年近藤医院を開業以来、行政が実施する保健予防事業に積極的にご尽力いただいている。特に村で行っている特定健診をはじめとする村の保健予防事業の効果的な推進のため、多大なるご協力をいただいている。また、結核・肺がん検診では、長年にわたり比較読影医として大北管内の結核・肺がん等の早期発見に貢献されている。現在も、地域住民からの信頼も厚く、村民の健康を守るため、村民の保健衛生行政に対して多大な貢献をされている。

## 6 募金活動

### （1）事業団会員

会員は、日本対がん協会の維持会員を兼ね、がん征圧運動の推進にあたっては、会員に対がん協会報及びパンフレット等の送付を行い、がん予防の知識普及を図った。

個人会員 223人 （年会費 1,500円以上）

団体会員 22団体 （年会費 5,000円以上）

名誉会員 9人 （事業団の活動に功績のあった者、又は10万円以上の寄附を行った者）

### （2）複十字シール募金事業

結核や肺がんその他の呼吸器疾患をなくし、健康で明るい社会をつくるための事業資金の確保と、これらの病気に対する知識の啓発と予防知識の高揚を図るため、結核予防会が実施する複十字シール募金活動に協力した。

募金額 4,980,760円

## 7 協議会・委員会等への参加

地域、事業所等の協議会・委員会の保健分野において、健康に関する専門・支援機関として委員を派遣した。

長野県がん対策推進協議会

長野県がん検診検討協議会

長野県健康づくり推進県民会議

長野市食育推進審議会

佐久地区地域職域保健連携推進協議会

上伊那郡市保健師連絡協議会

## II 健診等事業

### 1 集団健診事業

#### (1) 結核検診

市町村、事業所及び施設の委託等を受け、胸部X線間接撮影又は直接撮影による検診を検診車12台で実施し、受診者数は、前年度比較で4,865人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	学生	施設	2019年度	30年度	前年度比較
※1間接撮影	37,928	44,700	21,778	2,298	106,704	90,927	117.35%
※2検診日数	75	122	142	11	350	590	59.32%
※1直接撮影	436	8,917	86	11,009	20,448	41,090	49.76%
※2検診日数	160	377	23	204	764	495	154.34%
合 計	38,364	53,617	21,864	13,307	127,152	132,017	96.31%
検診日数	235	499	165	215	1,114	1,085	102.67%

(実施市町村数 33)

※1 従来は、撮影方式により撮影区分を分類していたが、今年度から基幹システムによる集計となったため、契約情報に基づいた撮影区分として集計している。

※2 基幹システムからの集計となったため、検診日数も契約情報に基づいた区分で集計している。

なお、間接撮影の受診者数は、肺がん検診による実施数を除く。

#### (2) 肺がん検診

市町村及び事業所の委託等を受け、胸部間接撮影及び直接撮影（結核検診に使用す

る検診車12台共用)にハイリスク者の喀痰細胞診を併用する方式による肺がん検診と、肺がんCT検診をらせんCT検診車1台で実施した。

間接及び直接撮影の受診者数は、前年度比較で1,688人増加した。エックス線による肺がん検診は1市が増えたため住民が増加した。肺がんCT検診は373人減少した。喀痰検査を含めた肺がん検診合計は、前年度比較で1,250人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2019年度	30年度	前年度比較
X線検査 (間接・直接)	48,890	25,970	74,860	73,172	102.31%
検診日数	269	306	575	602	95.51%
要精検数	1,088	200	1,288	885	145.54%
要精検率	2.23%	0.77%	1.72%	1.21%	0.51%
喀痰検査	774	282	1,056	1,151	91.75%
要精検数	0	0	0	0	—
要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
CT検査	15,495		15,495	15,868	97.65%
検診日数	183		183	177	103.39%
要精検数	428		428	451	94.90%
要精検率	2.76		2.76	2.84%	△0.08%
受診者合計	65,159	26,252	91,411	90,161	101.39%
検診日数	452	306	758	779	97.30%

(実施市町村数 X線検査 36、CT検査23)

要精検数は、国の指針によりD判定(肺がんを除く疾患疑い)を除き、E判定(肺がんの疑い)のみ記載。

### (3) 循環器健診(特定健診)・一般健康診断

市町村国保の委託を受けた特定健診、事業所等の委託を受けた一般健康診断及び特殊健康診断を循環器健診車10台と一部ワゴン車による機器の持込で実施した。

特定健診は、平成30年度から第三期実施計画(平成30年度～令和4年度)が開始され、市町村の新たな取り組みによる受診者数の増加が期待されたが、前年度比較で428人の減少となり、減少傾向に歯止めがかかっていない。

また、詳細健診の実施要件の拡大により、前年度比較で平成30年度心電図検査は1,225人、眼底検査は1,744人と大きく増加したが、2019年度の心電図検査は27人増加、眼底検査は335人減少した。

また、一般健康診断の受診者数は、前年度比較で平成30年度は1,398人と大きく減少したが、2019年度では4,020人増加した。

(人)

区 分	特定健診			一般健康診断		
	2019年度	30年度	前年度比較	2019年度	30年度	前年度比較
受診者数	24,835	25,263	98.31%	85,125	81,105	104.96%
身長・体重	24,835	25,238	98.40%	71,960	74,213	96.96%
腹 囲	20,531	24,213	84.79%	65,778	67,143	97.97%
体脂肪	5,180	5,808	89.19%	0	0	—
血 圧	24,836	25,263	98.31%	72,845	73,047	99.72%
血 液	24,831	25,263	98.29%	65,663	66,522	98.71%
尿検査	24,773	25,263	98.06%	71,453	71,593	99.80%
心電図	18,248	18,221	100.15%	59,467	60,535	98.24%
眼 底	9,050	9,385	96.43%	21,904	23,187	94.47%
診 察	24,613	25,263	97.43%	68,576	71,062	96.50%
視 力	—	—	—	72,995	73,280	99.61%
聴 力	—	—	—	53,798	55,431	97.05%
肝炎ウイルス	3,430	3,657	93.79%	5,314	6,021	88.26%

(実施市町村数 17)

一部事業所では一般健康診断に併せて、有機溶剤、特定化学物質等の業務に従事する労働者に対する特殊健康診断を13,050人実施した。

## (4) 循環器健診 (心電図検診)

市町村教育委員会の委託により学童、生徒の心電図検診を、循環器検診車又は心電計を持ち込み校舎内で検査を行う方法で実施した。

受診者数は、児童・生徒の減少により、前年度比較で608人減少した。

(人)

区 分	小学校	中学校	高校等	教職員	2019年度	30年度	前年度比較
心電図	15,083	8,101	9,023	756	32,963	33,571	98.19%

(実施学校数：小学校173、中学校76、高校等50、小中一貫校4、中高一貫校4計307校 高校等には養護6・盲1・ろう1の各学校を含む。)

## (5) 胃がん検診

市町村及び事業所の委託を受け、検診車9台(全車デジタル装置搭載)でX線検査(バリウム検査)を実施した。

受診者数は、近年続いている住民の検診離れや一部市町村で始まった内視鏡検診の影響もあり、前年度比較で3,058人減少しており、毎年1,000人を超える大きな減少が続いている。

(人)

区 分	市町村	事業所	2019年度	30年度	前年度比較
受診者数	28,620	18,297	46,917	49,975	93.88%
検診日数	795	638	1,433	1,560	91.86%
要精検数	2,761	1,248	4,009	4,337	92.44%
要精検率	9.65%	6.82%	8.54%	8.68%	△0.14%

(実施市町村数 56) 受診者数にはX線撮影のみの人数を含む。

## (6) 大腸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、免疫学的便潜血検査2日法を実施した。なお、事業所において希望があった場合は1日法で実施した。

また、一部市町村が医療機関で実施する検診の検査及び結果処理を実施した。

受診者数は、前年度比較で2日法が1,538人、1日法も2,234人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2019年度	30年度	前年度比較
2日法受診者数	67,031	26,421	93,452	94,990	98.38%
要精検数	4,422	1,258	5,680	5,430	104.60%
要精検率	6.60%	4.76%	6.08%	5.72%	0.36%
1日法受診者数	0	1,054	1,054	3,288	32.06%
要精検数	0	65	65	109	59.63%
要精検率	0	6.17%	6.17%	3.32%	2.85%
受診者合計	67,031	27,475	94,506	98,278	96.16%
要精検数	4,422	1,323	5,745	5,539	103.72%
要精検率	6.60%	4.82%	6.08%	5.64%	0.44%

(実施市町村数 42)

## (7) 乳がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、視触診・超音波検査を検診車2台（うち1台は超音波装置2台搭載）で実施した。国の乳がん検診の指針で視触診は推奨しない検診になっているが、一部の市町村と事業所では視触診を実施した。今後も継続して県医師会乳がん検診小委員会の指導のもと、地元医師会の協力を得て、超音波検査を全員に実施する超音波単独検査への移行を進める。

視触診・超音波検査の受診者数は、視触診・超音波検査が49人減少し、超音波単独検査も175人減少した。

マンモグラフィ検査は、市町村、事業所の委託を受けて、MLO（内外側斜位方向）とCC（頭尾方向）の2方向撮影を検診車3台（全車デジタル装置搭載）で実施し、受

診者数では、諏訪市、長野市等の申し込みが平成30年度より約700人少なく、稼働日数が27日減少したため、前年度比較で1,088人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2019年度	30年度	前年度比較
視触診検診受診者数	924	625	1,549	1,598	96.93%
超音波併用件数	924	568	1,492	1,535	97.20%
検診日数	31	29	60	72	83.33%
要精検数	9	2	11	37	29.73%
要精検率	0.97%	0.32%	0.71%	2.32%	△1.61%
超音波単独検診受診者数	15,270	2,890	18,160	18,335	99.05%
検診日数	406	104	510	501	101.80%
要精検数	288	69	357	404	88.37%
要精検率	1.89%	2.39%	1.97%	2.20%	△0.23%
マンモグラフィ検診	19,908	1,246	21,154	22,242	95.11%
検診日数	562	33	595	622	95.66%
要精検数	1,501	97	1,598	1,747	91.47%
要精検率	7.54%	7.78%	7.55%	7.85%	△0.30%
受診者合計	36,102	4,761	40,863	42,175	96.89%
検診日数	999	166	1,165	1,195	97.49%
要精検数	1,798	168	1,966	2,188	89.85%
要精検率	4.98%	3.53%	4.81%	5.19%	△0.38%

(実施市町村数 視触診・超音波検診 47、マンモグラフィ検診 53)

※マンモグラフィ検査の事業所の検診日数では、センター実施分を入れずに集計している。

(8) 子宮頸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、頸部細胞診を検診車2台で実施した。

受診者数は、市町村、事業所ともに減少し前年度比較で347人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2019年度	30年度	前年度比較
受診者数	12,132	3,416	15,548	15,895	97.82%
検診日数	244	74	318	324	98.15%
要精検数	129	76	205	208	98.56%
要精検率	1.06%	2.22%	1.32%	1.31%	0.01%

(実施市町村数 53)

このほか、長野市の委託を受けた施設検診（市内14の産婦人科医療機関から細胞検体を収集し検査を行うもの）では、子宮頸部検診7,428人の細胞診を実施した。要精検数は104人、要精検率は1.40%だった。また、子宮体部検診では、703人の細胞診を実施し、要精検数は10人、要精検率は1.42%だった。

(9) 前立腺がん検診

市町村の特定健診や事業所の定期健診で、問診と血液検査（P S A法）により、原則として50歳以上の男性を対象に実施した。

また、実施主体から要望のあった場合は単独検診として実施した。

受診者数は、前年度比較で23人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2019年度	30年度	前年度比較
受診者数	9,274	4,145	13,419	13,396	100.17%
要精検数	579	182	761	811	93.83%
要精検率	6.24%	4.39%	5.67%	6.05%	△0.38%

(実施市町村数 19)

(10) 骨健診

市町村、事業所の委託を受けて、超音波による踵骨測定の骨密度測定を実施した。

受診者数は、市町村は221人減少したが、事業所は一部事業所が自己負担を有償化したことで3,665人と大きく減少し、前年度比較3,861人の大幅な減少となった。

(人)

区 分	市町村	事業所	2019年度	30年度	前年度比較
受診者数	2,567	2,870	5,437	9,298	58.47%
健診日数	39	151	190	179	106.15%
要精検数	441	232	673	942	71.44%
要精検率	17.18%	8.08%	12.38%	10.13%	2.25%

(実施市町村数 15)

(11) ストレスチェック事業

労働安全衛生法に基づき、労働者の心理的負荷の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を事業所の委託を受けて実施した。

受託団体数は、前年度比較で3団体増加したが、受検者数は700人減少した。

区 分	2019年度	30年度	前年度比較
受託団体数	62	59	105.08%
受検者(人)	8,136	8,836	92.08%

(12) 平成30年度のがん検診事業による発見がんの状況

各種がん検診で発見されたがん症例について、県医師会、手術医療機関などの協力を得て追跡調査を実施し、検診精度の向上に努めた。

(人)

区 分		30年度発見がん数			29年度発見がん数		
		受診人員	発見率	受診人員	発見率		
肺がん検診 ※1	X線	17	52,986	0.03%	14	55,155	0.03%
	らせんCT	27	17,051	0.16%	42	16,815	0.25%
胃がん検診 ※2		50	48,892	0.10%	43	53,121	0.08%
大腸がん検診		168	98,279	0.17%	174	102,989	0.17%
乳がん検診	視触診+超音波	0	1,598	0.00%	5	1,739	0.29%
	超音波単独検診	26	18,335	0.14%	21	18,764	0.11%
	マンモグラフィ	54	22,242	0.24%	67	21,937	0.31%
子宮頸がん検診		1	15,895	0.01%	2	17,103	0.00%
前立腺がん検診		55	13,396	0.41%	42	13,673	0.31%
合 計		398	288,674	0.14%	410	301,296	0.14%

※1 市町村実施の結果通知分のみ

※2 読影実施分のみ

(13) がん検診の精密検査受診勧奨

伊那市の委託を受けて、各種がん検診の精密検査受診勧奨事業を実施した。

厚生労働省が示す精度管理指標の精密検査受診率の許容値〔胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がんの各検診は70%、乳がん検診（マンモグラフィ検査）は80%〕を上回った。

(人)

区 分		2019年度	30年度
胃 がん	要精検者数	217	300
	精検受診者数	184	243
	精検受診率	84.79%	81.00%
大腸がん	要精検者数	256	297
	精検受診者数	212	234
	精検受診率	82.81%	78.79%

前立腺がん	要精検者数	60	50
	精検受診者数	45	37
	精検受診率	75.00%	74.00%
乳がん（マンモグラフィ）	要精検者数	78	115
	精検受診者数	76	109
	精検受診率	97.43%	94.78%
乳がん（超音波）	要精検者数	25	36
	精検受診者数	22	29
	精検受診率	88.00%	80.56%
子宮頸がん	要精検者数	30	25
	精検受診者数	27	23
	精検受診率	90.00%	92.00%

（巡回検診分のみ記載 2020年3月現在の中間報告）

#### （14）精度管理の取り組み

##### ア 各種委員会活動

検診・健康診断事業の実施にあたっては、次の専門委員会等において医学的事項等に関する検討、指導を受け、検診精度の向上と事業の円滑な推進に努めた。

長野県主催

- ・長野県がん対策推進協議会
- ・長野県がん検診検討協議会

長野県医師会主催

- ・がん検診検討委員会
- ・消化器検診小委員会
- ・都市医師会消化器検診委員長会議
- ・乳がん検診小委員会
- ・都市医師会乳がん検診委員長会議
- ・肺がん検診小委員会
- ・都市医師会肺がん検診担当理事会議
- ・心臓検診検討委員会

長野県健康づくり事業団主催

- ・健康診査検討委員会
- ・肺がんCT検診読影運営委員会
- ・大腸集団検診委員会
- ・子宮頸がん集団検診委員会
- ・骨健診検討委員会
- ・マンモグラフィ検診研究委員会
- ・前立腺がん検診検討委員会
- ・健康センター専門委員会

##### イ 外部精度管理調査

信頼される健診機関であるために、次の外部精度管理調査を定期的受審し、精度の維持に努めた。

全国労働衛生団体連合会（総合精度管理調査）  
 長野県医師会（臨床検査精度管理調査）  
 結核予防会（胸部画像精度管理研究会）  
 公衆衛生協会（精度管理）  
 日本消化器がん検診学会（認定指導施設）  
 日本臨床細胞学会（認定）  
 日本乳がん検診精度管理中央機構（マンモグラフィ検診施設画像認定）

## 2 データ処理等事業

### (1) 特定健診（個別医療機関健診分）結果処理等

市町村国保が作成する特定健診受診券の発行を代行する業務や郡市医師会が実施している結果処理、健診費用の決済申請等の業務を市町村国保と郡市医師会から受託して実施した。

結果処理件数は、前年度比較で平成30年度2,618件、2019年度3,736件減少したが、2019年度の結果処理は、4月末到着時の件数であり、市町村国保と郡市医師会からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。

(件)

区分	市町村国保	郡市医師会	2019年度	30年度	前年度比較
受託数	38	17	55	54	101.85%
処理件数	73,413	6,930	80,343	84,079	95.56%

### (2) 医療機関等実施検診結果処理

医療機関等の施設において実施した乳がん・子宮がん検診及びドック健診のデータ処理、結果通知書の作成・集計等の業務を市町村及び事業所から受託し実施した。

結果処理件数は、前年度比較で1,691件減少したが、2019年度のドック健診の結果処理は、特定健診（個別医療機関健診分）結果処理等と同様に、4月末到着時の件数であり、委託元からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。

(件)

分		市町村数	2019年度	30年度	前年度比較
乳がん検診	視触診・超音波	4	9,105	9,366	97.21%
	マンモグラフィ	13	5,217	5,259	99.20%
	小計	17	14,322	14,625	97.93%
子宮頸がん検診		20	28,231	28,435	99.28%

ドック健診	ドック処理	—	12,764	13,518	94.42%
	データ作成	—	11,123	12,022	92.52%
	小計	—	23,887	25,540	93.53%
胃内視鏡検診		4	1,461	992	147.28%
合計		41	67,901	69,592	97.57%

### 3 健康センターにおける施設健診

長野健康センターと伊那健康センターで日帰り人間ドック(以下「ドック」という。)等の施設健診を実施した。

両健康センターの各種健診における健診合計は、前年度と比較して89名増加した。下表における受診コース別では、「生活習慣予防健診」、「日帰り人間ドック」、「全国健康保険協会生活習慣病健診」及び「定期健康診断」が増加し、「女性ドック」、「特定健診」が減少した。

また、職員の効率的な活用として巡回健診を実施するとともに、巡回健診で受診できなかった未受診者の健診を両健康センターで行った。

(人)

区 分	長野	伊那	2019年度	30年度	前年度比較
生活習慣病予防健診	1,666	700	2,366	2,315	102.20%
日帰り人間ドック	2,014	1,605	3,619	3,609	100.28%
女性ドック(月2～3回)	138	20	158	209	75.60%
特定健診	19	1,827	1,846	1,923	96.00%
全国健康保険協会生活習慣病健診	3,412	1,907	5,319	5,220	101.90%
定期健康診断	3,067	1,165	4,232	4,175	101.37%
健診合計	10,316	7,224	17,540	17,451	100.51%
その他	598	70	668	342	195.32%

## Ⅲ 健康増進事業

### 1 特定保健指導事業

(1) 医療保険者からの委託により、支援対象者に対して特定保健指導を実施するため、保健師、管理栄養士が生活習慣全般の具体的な改善計画を立案し、生活習慣病の重症化を予防のための支援を実施した。

(2) 長野・伊那健康センターで生活習慣病予防健診等を受診した特定保健指導対象

者に対する保健指導を実施した。

(人)

区 分	2019年度	30年度	前年度比較
動機づけ支援	429	391	109.72%
健康センター健診当日	63	103	61.17%
積極的支援	811	749	108.28%
健康センター健診当日	46	88	52.27%
初回のみ契約	379	376	100.80%
合 計	1240	1140	108.77%
受託団体数	15	15	100.00%

## 2 健康増進事業

### (1) 健診終了後の栄養・運動・保健指導事業

市町村、事業所の委託を受けて健診の事後指導等を実施し、食生活、運動及び生活習慣の改善についてアドバイスを行い、健康の維持増進を図るよう支援した。

市町村・事業所実施回数 129回

### (2) 健康づくり教室、セミナー等への講師派遣事業

市町村、事業所等の各種健康増進事業に保健師、管理栄養士、健康運動指導士を派遣し、地域や職域の健康づくりを支援した。

派遣回数 計212回

- ・保健師 29回
- ・管理栄養士 50回
- ・健康運動指導士 133回

### (3) 2019年9月1日に開催された長野市稲里町地区のイベント「稲里まつり」に参加し、血圧測定・健康相談、脳活動測定、全身反応時間測定等を行った。

## 3 協力事業

### (1) 公益財団法人長野県スキー連盟が実施する「ジュニア選手の医科学サポート事業」に協力した。

### (2) 松本大学人間健康学部に協力し、専門知識の情報交流を行い、栄養に関する指導現場の現状を伝える授業を受け持った。

### (3) 長野県教育委員会を中心に構成されるSWANプロジェクト実行委員会の「SWANプロジェクト」に協力した。

## IV 役員会

事業の実施状況等について報告するとともに、事業計画・予算、諸規程、運営上の諸案件等について審議するため、次の会議を開催した。

- (1) 第1回理事会 2019年6月4日(火) 事業団会議室  
会議事項 平成30年度事業報告、平成30年度会計決算報告、平成30年度資産取得資金の保有計画、評議員会の招集について
- (2) 第2回理事会 2020年3月13日(金) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面による表決を求めた。  
3月23日(月)、全理事・監事の賛成により決議した。  
会議事項 2020年度事業計画、2020年度損益予算、2020年度資金調達、固定資産取得予算及び資産取得金積立予算、公益財団法人長野県健康づくり事業団就業規則の一部改正、公益財団法人長野県健康づくり事業団パート職員就業規則の一部改正、公益財団法人長野県健康づくり事業団組織規程の一部改正
- (3) 評議員会 2019年6月21日(金) 事業団会議室  
会議事項 平成30年度事業報告、平成30年度会計決算報告  
任期満了に伴う理事の選任について、評議員の選任について
- (4) 監事監査 2019年5月28日(火) 事業団会議室  
平成30年度事業及び決算監査

## V その他

### 1 県有施設の管理受託

長野県から公衆衛生専門学校(伊那市)の管理事業を5,500千円で受託した。

### 2 経営の取り組み

事業団の収支状況に鑑み、経営状況は好転してきているものの健(検)診事業の環境は厳しい状況であることや、更なる改善の取り組みが必要であることについて職員に説明し、安定した経営基盤の確立に向けた意識の共有化を図った。

具体的取り組みとしては増収対策として営業・渉外活動の強化、WEBの活用、長野・伊那健康センターの体制強化に取り組み、業務効率化(経費削減)としては封入封緘機の導入検討、データ処理業務委託の拡大、年間をとおした健診計画の平均化に取り組んだ。

また、今後の事業団の各事業計画、検診車の配置・更新計画等運営のすべてに関する協議の場として健診検討会議を定期的(月1回程度)に開催し、将来に向けて

の運営について討論した。

### 3 リスクマネジメント活動

各所属でリスクマネージャーを選任し、かいぜんレポート・事故報告の収集と分析、業務の改善による事故等の予防のほか、安全かつ適切な健診の提供に努力した。

また、リスクマネジメント部会、事故予防対策委員会で、健診事業や事務事業の事故予防対策、改善内容の評価検討等情報の共有化に努めた。

個人情報保護管理については、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）に基づき、個人情報の適切な取扱い、保護・管理に努めるとともに、管理職、監査員、新規採用職員、パート職員等の対象職種別教育研修の実施、監査員による課・所ごとの内部監査の実施等を通じて、対応レベルの向上を図り、自覚と責任に基づき、受託先や受診者等からの信頼度の向上に努めた。

### 4 公益法人としての対応

主たる公益目的事業では県民の健康づくりに寄与するために精度の高い検診と、より良いサービスの提供に努めた。

また、普及啓発事業では、日本対がん協会と結核予防会の長野県支部としての役割を認識し、正しい知識の普及や新しい情報の発信等に努めた。

### 5 本部団体関係会議等

日本対がん協会及び結核予防会の長野県支部として健（検）診事業及び普及啓発活動等を行うにあたり会議等に参加し、収集した情報を各事業運営に活かし改善推進に努めた。

- |                         |                             |
|-------------------------|-----------------------------|
| (1) 日本対がん協会全国事務局長会議     | 2019年7月2日（火）東京都             |
| (2) 日本対がん協会関東甲信越支部連絡協議会 | 2019年10月18日（金）千葉県           |
| (3) 結核予防会関東甲信越支部ブロック会議  | 2019年11月29日（金）東京都           |
| (4) 結核予防会全国支部事務連絡会議     | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止 |

### 6 職員研修

個人情報保護対応等に関する研修会を随時実施するとともに、全職員を対象としたメンタルヘルス研修など各種研修会を開催して職員の資質向上に努めるとともに、年末の職員研修会において、次のとおり講演会を実施した。

なお、年度末の職員研修会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。

年末職員研修会

日 時 2019年12月20日（金） 13：30～17：00

場 所 長野ホテル犀北館 本館2階 WEST

講 演 演題「働き方改革関連法に基づく労働安全衛生法の一部改正について  
～一人一人の健康を確保するために～」

講師 小林労働安全衛生コンサルタント事務所

所長 小林 喜八郎 先生

また、県内外で開催された学会・研修会等に参加し、事業関連の研究発表や積極的な情報収集及び技術習得等を通じて健（検）診精度の向上と事業内容の充実に努めた。